

主 文

本件上告を棄却する。

上告費用は上告人の負担とする。

理 由

所論催告のあつた事實は、原審において当事者間に争のなかつたことが明かである。

所論は、結局原審の確定した事實を争うにすぎず「最高裁判所における民事上告事件の審判の特例に関する法律」（昭和二五年五月四日法律第一三八号）一号乃至三号のいずれにも該当せず、又同法にいわゆる「法令の解釈に関する重要な主張を含む」ものと認められない。

よつて、民訴四〇一条、九五条、八九条に従い、全裁判官一致の意見によつて、主文のとおり判決する。

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	長 谷 川	太 一 郎
裁判官	井 上	登
裁判官	島	保